

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

推計震度分布図について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

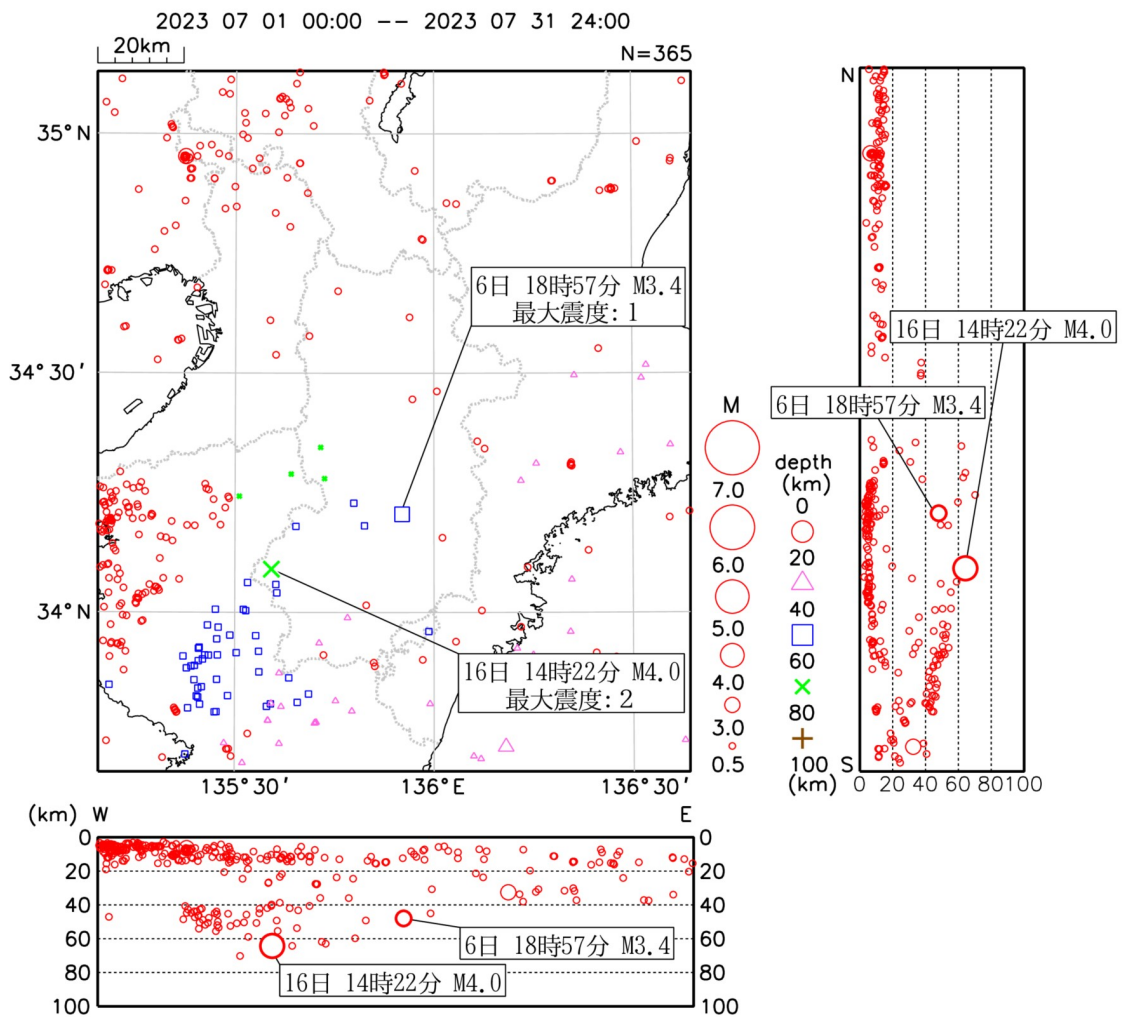
奈良地方気象台

2023年7月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

6日 18時 57分 奈良県の地震（深さ48km、M3.4）により、奈良県内では御杖村・吉野町で震度1を観測しました。

16日 14時 22分 奈良県の地震（深さ64km、M4.0）により、奈良県内では御所市・宇陀市で震度2を観測したほか、県内の広い範囲で震度1を観測しました。

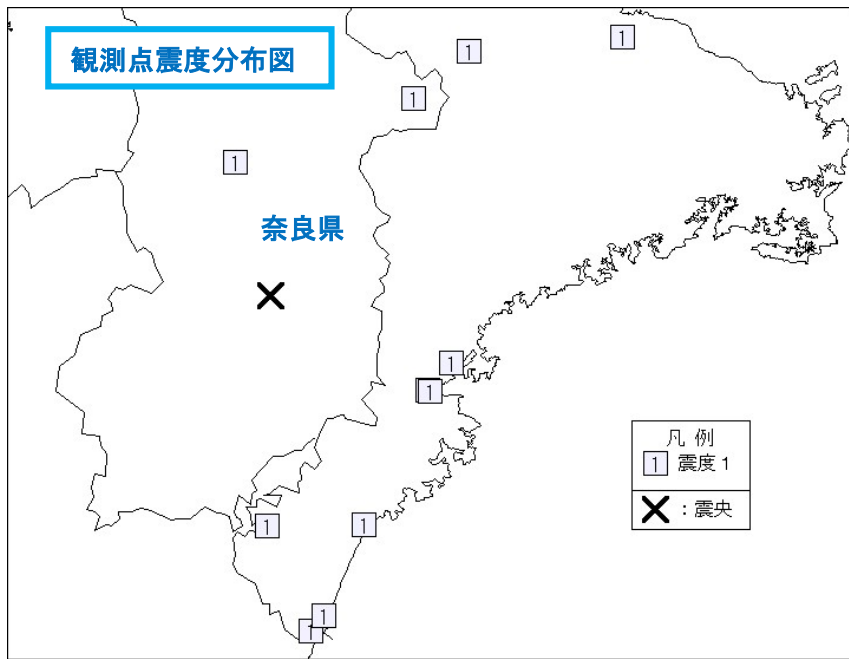
【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度 (奈良県内のみ記載)					
2023 年 07 月 06 日 18 時 57 分	奈良県	34° 12.3' N	135° 55.1' E	48km	M3.4
震度 1 : 御杖村菅野*, 吉野町上市*					
2023 年 07 月 16 日 14 時 22 分	奈良県	34° 05.4' N	135° 35.5' E	64km	M4.0
震度 2 : 御所市役所*, 宇陀市大宇陀迫間*					
震度 1 : 奈良市二条大路南*, 大和高田市野口*, 大和郡山市北郡山町*, 橿原市八木町*, 桜井市初瀬, 桜井市栗殿*, 生駒市東新町*, 香芝市本町*, 山添村大西*, 平群町吉新*, 三郷町勢野西*, 斑鳩町法隆寺西*, 安堵町東安堵*, 奈良川西町結崎*, 三宅町伴堂*, 田原本町役場*, 御杖村菅野*, 高取町観覚寺*, 明日香村橘*, 上牧町上牧*, 王寺町王寺*, 広陵町南郷*, 河合町池部*, 吉野町上市*, 天川村洞川, 奈良川上村迫*, 葛城市柿本*, 宇陀市菟田野松井*, 宇陀市榛原下井足*					

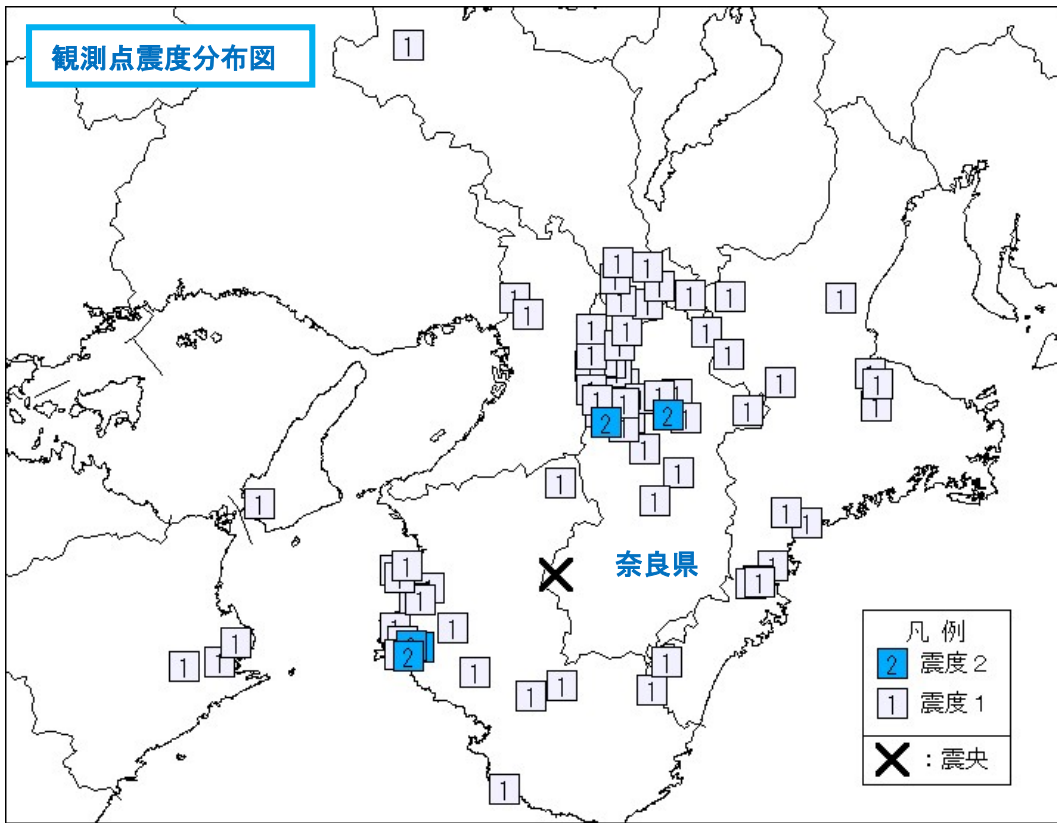
* 印は地方公共団体等の震度観測点です。

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

2023年07月06日 18時57分 奈良県 34° 12.3' N 135° 55.1' E 48km M3.4



2023年07月16日 14時22分 奈良県 34° 05.4' N 135° 35.5' E 64km M4.0

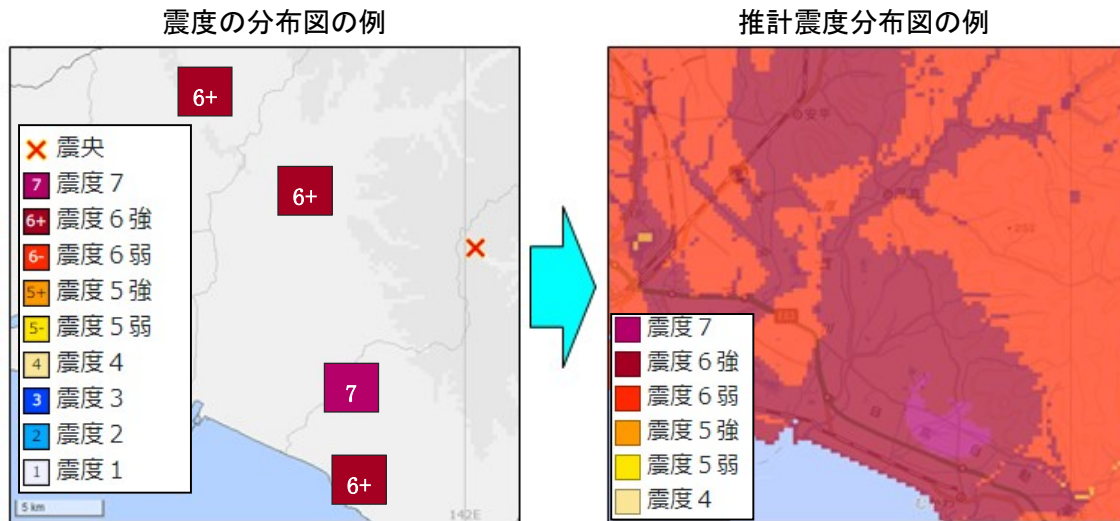


【地震一口メモ】

～推計震度分布図について～

地震のゆれの程度を表す「震度」は震度計で観測していて、奈良県内には51地点（気象庁5地点、奈良県45地点、国立研究開発法人防災科学技術研究所1地点）あります。気象庁は、24時間体制で地震の発生を監視し、震度1以上を観測した地震が発生したときは、観測された震度を取りまとめて地震情報を発表しています。地震情報は防災機関等で地震発生時の初動対応として活用されるため、必ず市町村に1地点は震度計を設置し、その地域の震度を観測しています。しかし、地震のゆれは、地盤や地形に大きく影響され、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。

推計震度分布図は、実際に観測された震度等を基に震度計のない場所の震度も推計して面的な分布図（250mメッシュ）で震度を表したものです。過去の地震を例に観測された震度の分布図と推計震度分布図を示します。推計震度分布図では、震度の大きな地域がどのような拵がりを持って分布しているかを確認することができ、大きな震度の面的な拵がりを考慮して被害状況の把握などの参考資料としてお役立てください。



推計震度分布図は、原則として最大震度5弱以上を観測した場合に発表し、推計震度4以上の範囲を示しています。気象庁ホームページでは、地図データと重ね合わせて公開しており避難経路や避難場所の選定にも活用できます。

なお、ある震度が推計された地域において、どのような現象や被害が発生すると想定されるかについては、「気象庁震度階級関連解説表」をご参照ください。

気象庁震度階級関連解説表

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去6年間程度分掲載しています。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>